

令和4年度（2022年度）第2回越谷市科学技術体験センター運営委員会

- 日 時 令和4年11月22日（火） 10時00分～11時30分
- 場 所 越谷市科学技術体験センター 2階レクチャー室
- 出席者 （委員6名）手嶋委員長、井原副委員長、林委員、木野内委員、
柳委員、池田委員
（事務局7名）鈴木教育総務部長、木村生涯学習課長
小抜生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長
浅古主幹、小高主幹、武田主任指導主事、松井主任、島村主事
- 欠席者 （委員5名）野口委員、鈴木委員、安川委員、金子委員、大塚委員
- 会議次第
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告事項
(1) 令和4年度（2022年度）4月～9月事業報告について
 - 4 協議事項
(1) 令和5年度（2023年度）事業計画（案）について
 - 5 その他
 - 6 閉 会
- 内 容 下記のとおり

会 議 内 容

令和4年度（2022年度）第2回運営委員会会議録（令和4年11月22日開催）

- 1 開会 浅古主幹（司会）
- 2 あいさつ 手嶋委員長、鈴木教育総務部長
- 3 報告事項

（1）令和4年度（2022年度）事業報告について

議 長 令和4年度（2022年度）4月～9月の事業報告についての説明を求める。

事務局 令和4年度（2022年度）4月～9月の事業報告の資料に基づいて説明を行う。

議 長 委員に諮る。

議 長 昨年度と比べても来館者が戻ってきている。Withコロナが定着してきている。

プロジェクションマッピング等の新事業も始まるとのことで、多くの人に体験していただけるのではないかと。

委員 出張授業などで相手先の学校に行く際、コロナ対策の工夫は、どんなものがあるか。

事務局 現在は、教室にて机を離れた状態で実施している。道具や教材等は、一人一セットを他人とは共有しない形で渡し、当館の職員については、マスクを着用し、手袋をはめて子供たちと直接触れないようにしている。
学校利用は、理科室や図工室を利用して、皆で話し合いをしながら学ぶことが本来の姿ではあるが、学校側の理解やしっかりとした感染対策が必要であることから、感染状況を見据えながら手探りで実施している状況である。

委員 生徒は実験が終わった後話し合える状態なのか。

事務局 子供同士で授業中に発表を一緒にすることは難しいが、実験の終了後は話し合いをしている。

委員 大学向け科学啓発指導法講座の実績はどうか。内容的に科学の教育をしていく講座なのか。どういう指導を行っているのか。

事務局 将来学校の先生になる学生を対象にミラクルで行っているサイエンスショーや実験工作のノウハウを伝えるということで公募はしているが、現段階では実績はない。

委員 大学向け啓発指導法講座での受講者の感想がわかるようにすると良い。

委員 この講座を受けた学生が、サイエンスショーを実際やってみるのもよいのではないかと。

委員 生涯学習関係事業（運営員会資料10P、11P）講座の中で児童生徒の反応の良いものはどれか。

事務局 科学実験体験メニュー（運営員会資料10P）は特にドライアイスで遊ぼう、ミラクル花火、あつたカイロ、科学工作体験メニュー（運営委員会資料11P）はキラキラ万華鏡、偏光万華鏡などの人気がある。

委員 講座中に生徒がざわざわして収拾がつかなくなることはないのか。

事務局 科学教育指導員はベテランの元教員であるため、収拾がつかなくなるようなことはない。

委員 最先端の小型ロボットを使ったプログラミング体験の授業はどんな様子か教えて

ほしい。

事務局 パソコンにはつながっていないアンプラグドのロボットを置き、ロボットを動かすための命令カードを本の上のスタートとゴールのとおり動くように並べるものである。先を見て自分で考えてプログラミング思考を身につける講座になっている。

4 協議事項

(1) 令和5年度(2023年度)事業計画(案)について

議長 令和5年度(2023年度)事業計画(案)についての説明を求める。

事務局 令和5年度(2023年度)事業計画(案)の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

委員 協議事項の大学向け科学啓発指導法講座(運営員会資料19P)についてだが、今年度前半実績がないとのことだが、アナウンスはどうなっているのか。自分の大学(文教大学)にはアナウンスが来ていない。アナウンスがない状態では気が付かない。このあたりはどう考えているのか。

事務局 新型コロナウイルス感染症の関係で、感染拡大が懸念されることもあり、アナウンスが弱かった。後半については、文教大学、埼玉県立大学、埼玉東萌短大などの連携している高校や大学に周知し、実績を伸ばしていきたい。

委員 ボランティアで学生が入ることはあるのか。

事務局 ボランティアとして学生が入ることはあるが、現在の状況を鑑みて活動人数を制限している。今後はボランティアの活用を随時広げていきたい。

委員 教員志願者が多い大学だと、科学技術体験センターに来てボランティアをすることに関心が高い。教員養成課程でもボランティアが推奨されている。学生も色々なボランティア体験を希望している。理科専修の学生以外にも希望者はいるので、高校生だけでなく大学生にも向けてアナウンスをできると良い。結果的に裾野が広がっていく。

事務局 令和4年8月6日に東萌短期大学の学生がボランティアに近い形で外部講師として、「わくわく広場」の講座を開催していただいた。連携している東萌短期大学が小さい子供向けに実施したもので、好評をいただいている。土日は特に未就学児連れの親子に喜ばれている。今後も周知をさせていただき、連携していきたい。

委員 科学講座は物理、化学、生物、地学どのようなことをするのか。タイトルだけでも教えてほしい。

事務局 地学は、外部講師は「My 地球儀を作ろう」内部講師は宇宙の話や「ミニプラネタリウム」を作ろうなどを行っている。生物は、外部講師は大人のための生物学講座、花粉症の話や、ワクチン、コロナの話。内部講師はウニの発生で受精卵から分裂していく様子を観察するものや、心臓の解剖なども過去に実施している。物理は動くおもちゃなどが実際にどのような原理で動いているのかを解説する講座などを行っている。化学は炎色反応を実施している。越谷総合技術高校との連携でなでしこ等のプログラミングや現在学校で行っている小型ロボット toio を使った講座を来年は開設できるとよいと考えている。

委員 非接触型体験装置のソフトの開発はミラクルでできるのか。

事務局 科学技術体験センターをメインとしたオリジナルのプログラムを新たに作りたいと考えており、予算措置をしている。既存のソフトも複数あるので、そちらを活用しながら新たな体験装置のソフトの導入を検討している。

委員 気象台の講座や生物学の講座など、大人向けの講座について外部講師の講座にしては人数が少ないようだが、周知はどうしているのか。

事務局 大人向けの講座の定員に関しては一人1テーブルずつの制約の中で行っている。1階は2部屋あるが、10テーブルと8テーブル、3階は10テーブルと20テーブルが最大である。
講師の方の材料の関係があり、20人でお願いしても10人になることがある。毎回満員ではないので周知方法は考えていきたい。友の会メールや、ホームページ、シテイメールで広報を行っている。定員を増やすことに関しては来年以降考えていきたい

事務局 大人の講座は人数が制限されている。人気の講座は、すぐに満員になるが、定員に満たない場合はシテイメールで募集をかけている。定員が制限されているので参加者数が少なく見えるが人数が集まらないわけではない。
大人のための生物学講座では、定員が埋まり、キャンセル待ちの枠まで予約が入り、好評であった。回数が複数回あるものについては参加条件が全て出席になっているため、申込ができない方もいる。
全ての講座について人数が少ない状態で開催しているわけではない。
講座を増やしてほしい等の要望もある。

委員 大人のための生物学講座はどういった内容の講座なのか。

- 事務局 3回とも顕微鏡を使って微生物や自分の染色体を見た。顕微鏡の数の関係で人数を制限した。
- 委員 ミラクル友の会は今どのような状況になっているのか。リピーターが多いのか。
- 事務局 ミラクル友の会の会員は増えている。こちらで講座体験した小中学生、その保護者を含めて会員の申し込み希望がある。リピーターだけでなく、随時新しい方が入会している。講座を気に入って会員になる方が増えてきている。
- 委員 防災教育に関して実施する予定はあるか。
- 事務局 今年度は、すでに市民が災害からどのように身を守るかという視点で考える講座を、気象庁から講師をお招きし実施した。市民から、今後も防災講座をやってほしいといった要望もあるので、これからも広げていくつもりである。大人のための防災講座は今年開催した講座と同様に、親子で参加する形式の講座を拡充していきたい。親子で話し合いながら学んでいけると良い。
- 委員 教育実習の研究授業でハザードマップを使用したが生徒たちは避難所や浸水場所を知らなかったため、先生たちや生徒達に好評だった。
- 事務局 越谷市にもハザードマップがあるので、講座の中で自分の住んでいるところはどのような災害が起こるのかを含めて話ができると良いと考えている。

5 その他

- 議長 委員、事務局に連絡・報告等の事項を尋ねる。
- 事務局 令和5年（2023年）第1回越谷市科学技術体験センター運営委員会の開催について説明する。次回は令和5年（2023年）5月に開催予定。
- 手嶋委員長が議長の職を降り、司会が進行役となる。
- 事務局 林委員より資料の提供があったので説明をお願いします。
- 委員 越谷市の歴史を調べている伝承部会というものがあり、今回冊子を作成した。越谷名産のくわいや太郎兵衛餅、方言など見ていて楽しいものとなっている。お持ち帰りいただければと思う。

6 閉会 井原副委員長